

令和6年度下半期（令和6年10月～令和7年3月）モニタリング評価表

施設名 高齢者福祉センター

指定管理者 社会福祉法人和光市社会福祉協議会

評価内容	検査項目	評点
1. サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	(1) 利用者サービスの向上や利用促進のための取組がされたか	4.0
	(2) 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか	3.5
	(3) 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がされたか	3.0
	(4) 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか	3.5
<p>利用者からの意見を基にニーズを把握し、講座の開催回数を増やすなどサービス向上に努めています。</p> <p>臨時便など送迎に関しても対応しています。</p> <p>常連の利用者だけでなく、新規利用者が参加しやすいよう、引き続き門戸が開かれたセンターとなるよう努めてください。</p>		
2. 施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	(1) 適正な施設の維持管理、運営が行われたか	3.75
	(2) 備品台帳により記録が適切に保管されているか	4.0
	(3) 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	3.25
	(5) 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	3.0
<p>職員の日々の点検、清掃等による確認により、適切な施設の維持管理が行われていました。</p> <p>管理されている備品を配置場所ごとに区分けし購入、廃止の履歴も記載されて把握しやすい備品台帳でした。</p> <p>懸案事項であった浴室内カランの修繕等、利用者にとって快適な環境を維持するための整備が実施されています。</p> <p>設備に関する知識も、職員同士で引継ぎされており、属人化とならない取組がなされています。</p>		
3. 緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	(1) 事故、苦情に対する対応は適切であったか	3.0
	(2) 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3.25
	(3) 避難経路は適切に確保されているか	3.5
	(4) 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	3.0
<p>マニュアルについては、必要な際に改訂しており緊急時対応の備えができていますが、人員配置も事前に配置が決まっていれば、職員の方も非常時の際に緊急時対応しやすい</p>		

のではないかと思います。適宜の見直しに加えて定期的な全体の改訂・見直しを行ってください。		
避難訓練等は適切に行われており、避難通路も確保されていました。		
評価内容	検査項目	評点
4. 快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	(1) 適正な人員(人数、有資格者)が配置されたか	3.5
	(2) スタッフのシフトは適正であるか	3.0
	(3) 事業計画書に即した内容・頻度で教育・研修を実施したか	3.0
	(4) 施設内が整理整頓されているか	3.5
適正な人員が配置されていました。		
虐待防止研修も全職員（運転手除く）行っています。		
メンタル不調者による休職者がおらず、風通しの良い職場環境が構築できていることが窺えます。今後も現在の状態を続けてください。		
5. 指定管理者としての努力がなされているか。	(1) 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか	3.25
	(2) 収支状況は当初計画と整合しているか	3.25
	(3) 経理事務が適正に処理されているか	3.25
	(4) 経費削減への取組がされているか	3.0
利用者満足度調査のアンケート結果の7割が日頃の感謝であることから利用者にとっても満足される対応をしている結果だと思います。今後も利用者に寄り添った施設運営を行ってください。		
税理士等の助言を参考にし、引き続き適正な経理事務に努めてください。		
また、更なる経費削減に取り組んでください。		
66.5 点 (評点の合計)		
結 果	× 1 0 0 = 83.13% (評点の割合)	
80 点 (最高点の合計)		

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4 点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3 点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2 点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1 点